



ライオンズクラブ国際協会
336A地区2R-4Z

西条

2010年2月号
No. 395

SAIJO LIONS CLUB



今月のTOPiX

2月第1例会 1名入会



2009-2010 年度

国際会長 エーバハルト・J・ヴィルフス

モットー 「WE SERVE(われわれは奉仕する)」

テーマ 「MOVE TO GROW(個人的成長と会員増強)」

336-A地区ガバナー 武久一郎

スローガン 「ライオンの未来に、情熱と夢をもってウィ・サーブ」

キーワード 「初心」

西条ライオンズクラブ会長 寺尾信司

スローガン 「半世紀の歴史に向かい WE SERVE」

キーワード 「前進」

【 2月第1例会 入会式 】



今期、3人目となる新会員がクラブに目出度く入会されました。歓迎の拍手の中、緊張した面持ちでスポンサーと入場された高橋Lは、声高らかに宣誓文を読み上げ、会員委員の加藤誠也Lより歓迎の言葉を受けました。学生時代には「バレー部」で活躍されていたとか・・・
【これは2R親善スポーツ大会にぜひぜひ参加してもらわねば!】とひそかにほくそ笑む〇〇〇でした。



新 会 員 紹 介

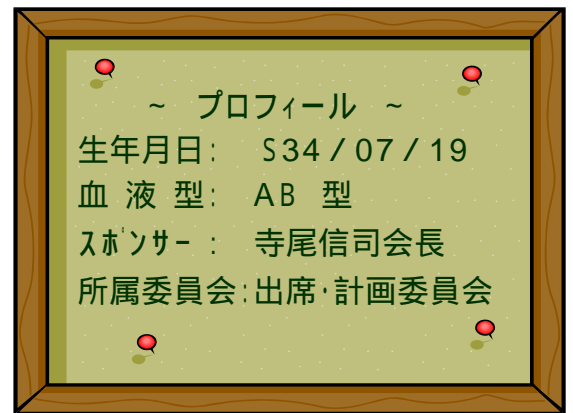


皆様、はじめまして。このほど西条ライオンズクラブに入会させていただきました、高橋石油ガス(株)の高橋雅頭(たかはしまさあき)と申します。2月16日の入会式に始まり、20日には委員会の歓迎会を開いていただきました。

寺尾会長様はじめ、諸先輩方がお忙しい中、お集り下さったこと、又、原委員長様作の横断幕に、大変恐縮かつ感激致しましたことに、まずは、お礼申し上げます。

入会したと申しましても、ライオンズ専門用語に??となっている状態の上、50歳にして、新入生と言う、久々の新鮮な緊張感というより、違和感で、少々落ち着きませんが、いろいろとご指導頂きながら、私なりに努めさせていただこうと腹を括ったしだいでございます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



2Rリーダーシップ(指導力育成)研究会に参加して

L. 野間賢次郎

1月16日(土)に今治商工会議所にて今治東ライオンズクラブによる上記研究会が行われました。講師の元地区ガバナー・地区名誉顧問である西原透Lを始め、2R-RC 田中節太L、地区委員の方々、そして各クラブの3年目～5年目のメンバー並びに会員理事が参加しました。



研究会はリーダーになるための心構え、話し方講座、議事運営法について約3時間学び、17:30～懇親会が催されました。話し方講座では、スピーチの基本型、目の動きと視線、声の使い方、身振りや手振りをどう使うか、適切な言葉の選び方を学び、研修後成果を表すため尊敬する人という題材でスピーチも行われました。皆さん名監督、偉人の方々を挙げられる中、私は声高らかに尊敬する人は「寺尾会長です」とスピーチしてきました。今回学ばせていただいたことを今後の活動に生かしていきたいと思っております。



四国電力㈱ 西条発電所 山内です。 2月21日(日) 今治商工会議所で、新会員オリエンテーションを受講してきました。

私は昨年7月に、神野ライオンから、ライオンズクラブメンバーの心構えを中心にオリエンテーションは受けましたが、この度、336-A地区2Rの合同開催という事で、約2時間、元地区ガバナー・地区名誉顧問の西原 透講師から、ライオンズクラブの歴史や会員の資格と義務、主なアクティビティ、ロバート議事規則等について講義を受けました。

ライオンズ必携は、当日初めて紐解いた(ごめんなさい、これまで西条ライオンズのメンバーに都度ご指導して頂いて、必要性を感じてなかったもので)のですが、道德綱領やクラブ結成の経緯など、読んでみて今更ながら、クラブの崇高さや、「他人に尽くすことなくして人生の大は成し遂げられない」としたクラブモットーなどを噛み締め、身の引き締まる思いがしました。

当日は、塩崎己年夫ライオンが引率者ということで、行き帰りとも車で送って頂いたのですが、車中、ライオンズに入会してよかったこと、一生懸命やれば必ずいいことがある、人生1回きりなので、悔いのないように頑張りたい旨の人生教訓もお聞かせ頂き、甚だ充実した一日を過ごすことができました。

まだまだ至らぬ新米ですが、皆さんとのコミュニケーションを大切に、クラブ活動に参加してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。



会員短信

【 これから生まれ来る子供達のために 】 L. 十亀興美



今、世の中、青少年の行き場のなき犯罪・非行が痛ましくも増加の一途にありますことは、ご承知の通りであります。その原因は、基本的には家庭にあると考えられます。両親が家計の充実と称し、「カギっ子」と言われる子供を放任し、しつけをしなかったこと等が、現在の世相に反映されているところです。

幼き子等に大切なのは母親の存在であります。子供は母の胎内にて育ち、この世に生を受け、その愛情によって成長し、やがて社会の一員として自らの人生が始まります。

男女同権、平等とはいえ、男に子供を産むことはできませんし、赤ちゃんの生きる食物は母乳であり、母より命の栄養が与えられ、母の心臓の鼓動を聞きながら授乳し、その安心感が「三つ子の魂 百まで」の豊かな情操教育の根幹となり、人生の幕開きが母から与えられることを思います時、母なるものの存在は図り知れぬものがあります。

神様が陰と陽、父なるもの、母なるものの役割を与え、自然界の摂理として、この世に命を結び産み伝えてゆく、生成発展の有り方を創造されたと思います。

NHKの地球大紀行等に見せられる、自然界の生存競争の厳しさ、動植物の生き様に、むしろ、学び教えられるものが沢山あります。

今、子供達が危機に晒されています。私は祖父母・父母・子孫といのちを伝えゆく三世代が共に生活し、人生経験豊かな「じいちゃん・ばあちゃん」の生きる知恵が、孫さんに伝わることの大切さが、必要 ですし、子育ての要諦は、『乳児は肌を離さず、幼児は手を離さず、青年は心を離さず』の格言に学び、家族の絆を大切にすることこそ、国づくり、人づくりの根本と思います。

共に努力して、これから生まれ来る子供達の幸せのために頑張りましょう。

そして、公に尽くす心“ウィ・サーブ”を育てましょう。

会員短 信

L. 高木和幸



昨年の暮れ、地区青少年健全育成の活動の一環で神拝小学校6年生とのしめ飾りづくりに参加しました。今回で4回目の参加でしたが、これまでは設営のお手伝いで、実際に縄をなう事はありませんでした。今回は指導者が少なかったので、未経験でしたが私も藁と格闘しました。学校田で作った餅米の藁を鋤いて、杵でたたいて、いよいよ子供たちと、あんでいきまいた。老人会の方からご指導を受けながらあんでいったのですが、少しすると子供たちが「先生 教えて」と私のところに集まりました。「今日が初めてだから、先生じゃないよ」と、下手なりに教えていると、子供たちがだんだん増えてきて、“ああでもない こうでもない”と大変にぎやかなしめ飾りづくりとなりました。



皆さんもご承知のとおり、私の仕事は電気とパソコンがないと始まりません。たまにパソコンの講習会を行った場合、当初は興味津々に参加していた人達も習得の早さに差が出てくると、あくびが出始め、時計を眺めはじめます。

それと比べると、藁をなつて綱をつくるという昔からの作業に子供たちの参加態度はその逆で、道具らしき物は使わず、手のひらだけで藁と対決し、こつを掴んだ子は友達に教えはじめます。そしてみんなが飾りを家に持って帰りました。



最近の保護者はITや語学は教えたがりますが刃物の使い方など直接成績に反映されないものは協力的でないとも聞きます。パソコンの使い方は5年もすぎると時代遅れです。それと比べると百年、二百年と続く生活の知恵に、子供たちと一緒に感動した一日でした。

【編集後記】

寒さの中にも春の足音が聞こえて来ましたが、皆さんお変わりなくお過ごしでしょうか。

二月は陰暦で【如月】と言いますが、語源は寒さで着物をさらに重ねて着ることから

【着更着(きさらぎ)とする説】が有力だそうです。

まだまだ余寒の厳しい季節ですが油断して風邪などひかれないように、くれぐれもご自愛下さい。今後とも、原稿のご協力宜しくお願い致します。

PR・広報委員会委員長 土居恵三

発行所 ライオンズクラブ国際協会 336A地区 2R 4 Z
西条ライオンズクラブ

事務局 〒793-0027
西条市朔日市 779-8
西条商工会館3F

TEL (0897) 56-3980

FAX (0897) 56-9251

E-mail saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp

発行者 会長 寺尾信司
幹事 野間賢次郎

PR・広報委員長 土居恵三
編集委員 清水泰雅 ・ 西原 功
加藤 茂 ・ 安藤憲正
塩崎秋義 ・ 伊藤隆治

例会日 第1・第3火曜日

例会場 黒猫レストラン

印刷 西条ライオンズクラブ事務局